



パ・ド・ドゥ Pas de Deux

秋号

事務局 〒473-0917 豊田市若林西町向屋敷24番地 Tel/0565-52-2214 E-mail/t-ballet@dune.ocn.ne.jp

2017.11 No.16

2017年度 主な事業

- | | |
|-------------|---|
| 平成29年 3月 | 第42回エトワール定期公演 豊田市民会館小ホール |
| | 第7回国立エルミタージュ劇場公演 |
| 5月 | サハ共和国訪問、卒業公演見る |
| 6月 | サハ共和国訪問 |
| 8月 | 第5回豊田世界バレエ&コンテンポラリーダンスコンペティション 豊田市民文化会館大ホール |
| | 第6回豊田全国バレエコンクール |
| 9月 | 子供体験フェア・アートのワンダーランド 豊田市スカイホール |
| 10月 | 第4回アート衆団 in 高岡発表会 |
| | “高岡ふれあい”フェスタ 若林交流館 |
| 12月 | クリスマスジャズ&バレエコンサート エトワール第2スタジオ |
| 平成30年 7月 | 第43回エトワールバレエ定期公演 豊田市民会館小ホール |
| ※予定 10月~11月 | 「ドン・キホーテ」全3幕 豊田シティバレエ団+オーケストラ付 |

豊田バレエ学校・豊田シティバレエ団公演

国立エルミタージュ劇所にて7回目の公演を成功させる。

3年に1度、豊田バレエ学校修学旅行として21年7回目の公演となった。

今回は韓国のバレエ団も同行し「パ・ド・シス」「オダリスク」

「子供の情景」「悲愴」などを発表した。

ウズベキスタンでは、戦後70年、やっと劇場修復完成記念として合同公演を行った。

曲目は「ドン・キホーテ」第1幕と「乙姫伝説・浦島」他

エルミタージュ公演は3月24日、ウズベキスタン公演は3月38日、サマルカンド公演3月29日。

不屈の努力 夢の舞台へ



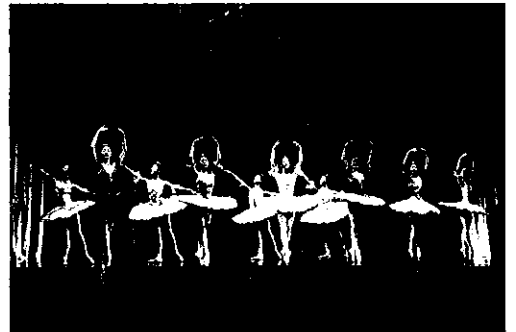
豊田の学校卒業・坂野さん ロシアのバレエ団に

豊田若林西町の「豊田バレエ学校」を卒業した坂野さん。ロシアの国立エルミタージュ劇所に入団する坂野さん。豊田若林西町の豊田バレエ学校で

坂野さんは、幼いからバレエが好きで、あんなに人生目標を定めて練習し続けた人はいない。母の勧めで、3歳の時にバレエを始めた。最初は、バレエの練習は苦しかった。でも、バレエの楽しさを知ると、練習は楽しくなってきた。小学四年生の時に、バレエの練習を始めた。中学三年生の時に、バレエの練習を始めた。高校三年生の時に、バレエの練習を始めた。大学三年生の時に、バレエの練習を始めた。卒業後、ロシアの国立エルミタージュ劇所に入団した。現在は、ロシアの国立エルミタージュ劇所に所属している。

坂野さんは、幼いからバレエが好きで、あんなに人生目標を定めて練習し続けた人はいない。母の勧めで、3歳の時にバレエを始めた。最初は、バレエの練習は苦しかった。でも、バレエの楽しさを知ると、練習は楽しくなってきた。小学四年生の時に、バレエの練習を始めた。中学三年生の時に、バレエの練習を始めた。高校三年生の時に、バレエの練習を始めた。大学三年生の時に、バレエの練習を始めた。卒業後、ロシアの国立エルミタージュ劇所に入団した。現在は、ロシアの国立エルミタージュ劇所に所属している。

坂野さんは、幼いからバレエが好きで、あんなに人生目標を定めて練習し続けた人はいない。母の勧めで、3歳の時にバレエを始めた。最初は、バレエの練習は苦しかった。でも、バレエの楽しさを知ると、練習は楽しくなってきた。小学四年生の時に、バレエの練習を始めた。中学三年生の時に、バレエの練習を始めた。高校三年生の時に、バレエの練習を始めた。大学三年生の時に、バレエの練習を始めた。卒業後、ロシアの国立エルミタージュ劇所に入団した。現在は、ロシアの国立エルミタージュ劇所に所属している。



サハ共和国の国立バレエ劇所に入団する坂野さん＝豊田若林西町の豊田バレエ学校で



ロシアなど、バレエを「憎悪」のトーンで語った民間交流を長年続け、舞を披露、舞を鑑賞する場として、豊田市のチャイコフスキー音楽院バレエ学校から大々的に手を挙げた。ロシア・サンクトペテルブルグ市のエルミタージュ・バレット・バレエ学校が、豊田市のチャイコフスキー音楽院バレエ学校と交流の輪を広げた。ロシア・サンクトペテルブルグ市のエルミタージュ・バレット・バレエ学校は、歴史的な交流の輪を広げた。ロシア・サンクトペテルブルグ市のエルミタージュ・バレット・バレエ学校は、歴史的な交流の輪を広げた。

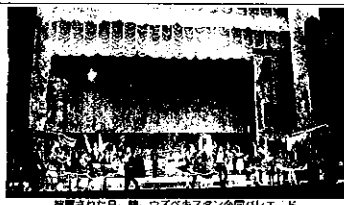
本場でバレエ生徒 躍動
豊田の学校 ロシア公演で大拍手



本場ロシアで公演した豊田バレエ学校の生徒ら



ウズベキスタン



芸術の殿堂 喝采浴びる

豊田バレエ学校など 県勢交流団 ウズベク公演

中央アジアの芸術の殿堂を駆け巡る「チャイコフスキー」を豊田バレエ学校(豊田市の呼び掛け)と県の文化交流団(豊田五全)が、ロシアの主要都市訪問、バレエの交流の輪を広げた。ロシア・サンクトペテルブルグ市のエルミタージュ・バレット・バレエ学校と交流の輪を広げた。

ロシア・サンクトペテルブルグ市のエルミタージュ・バレット・バレエ学校と交流の輪を広げた。ロシア・サンクトペテルブルグ市のエルミタージュ・バレット・バレエ学校と交流の輪を広げた。



中日新聞社
2017年(平成29年)
4月7日(金)
世界保健デー



第42回エトワールバレエ定期公演

月日が過ぎるのは大変早いもので、創立45年あつという間に過ぎ去って行った思い、当時は振り返り懐かしく思います。

生徒は、常日頃練習に励み、頑張り、当日の公演を無事終えました。出し物は、一部が[バレエコンサート]、二部では、ゲストに寺本姉妹を招いての公演となりました。

タイスの[瞑想曲]をバイオリンとピアノ演奏で生徒が踊り[子供の情景]と[悲愴]を寺本みなみさんのピアノ演奏で踊りました。

若い才能あるプレイヤーとバレエのコラボレーションを試みて2年、若手芸術家とのコラボレーションを続けて行く予定です。次回は、箏曲とチェロを予定しています。



中央アジアのウズベキスタンを訪ねた。シルクロードの中継地だった首都タシケントに、親日を象徴する美しいオペラ座(国立アリシエリナ・ボイボリシヨイ劇場)がある。エキゾチックなヒザンベン様式のれんが造り、劇場の内装は、土色柄を映して荘厳なイヌラム宮殿風。どこか和のテイストがにわが装飾である。旧ソ連の捕虜となつた元日本兵たちが手掛けたと聞いて、納得した。建物は瀟灑だが、実は頑健。一九六六年、タシケントを壊滅させた大地震にもびくともなかった。

強制労働の過酷な状況下で、立派な劇場を建てた日本人の仕事ぶりは、ウズベクの人たちの間で尊敬の念を持って語られる。豊田バレエ学校(愛知県)の諏訪等校長を団長とするウズベク訪問団に対し、私は一つの提案をした。親善公演の前に、異郷で果てた日本人が眠るお墓に参るべきだ。舞臺で生まれ、土気が高まった。舞臺裏に帰る。土気が高まった。舞臺裏に帰る。土気が高まった。舞臺裏に帰る。



中日新聞社
2017年(平成29年)
4月18日(火)